

# 東北新報

本報創刊三十周年紀念  
郵政特許第一二七三號  
社址 仙台市大町二丁目  
電話 二二二二  
印刷 仙台市大町二丁目  
電話 二二二二

## 社説

### 普通最初の町村會議員の政戦中ことに注目

普通最初の町村會議員の政戦中ことに注目。無産政黨各派の態度も、何名の議員を獲得するかといふことは大衆のひとしく知らんとすることであらう。常警に強力なる根を張つて感戦苦闘した日本坑夫組合と支持する日本大衆黨もその後悲惨なる末路に終つた結果として、社會民衆黨と看板を塗り替へて仕舞つた警炭を主力とする幹部派は、陰忍自重してゐる。

大衆黨の残留組員は、小田、古河二炭礦のみであつて、その勢力も殆んど昔日の面影すらも、片影すらも見ることが出来なくつた。殊に古河礦における大衆黨員は全く影を没し絶滅の姿であつて、労働者の好過方法は他炭礦に見られぬ程である。従つて小田礦のみにある黨員では苦戦し、結果して村議二名といふことにならうし古川礦としては會社側の労働者一名を村會におくことにせらう。

のがある。幹部は無産派の政治戦線に洗練された闘士多数である關係上、鮮明な候補者三名台流してゐる候補者三名であつて都台六名を獲得するものと見られてゐる。湯本町、平町各一名の公認候補者擁立の意志ある由なるも、果して成算あるかどうかは疑問とされてゐる。要するに無産大衆が政治戦線における活躍は洋々たる時潮の響音を基調として全線の進出することであらう。

平町の労働者、小商人、俸給生活者は無産大衆である限り無産者意識を把持して普通最初の政治戦線を飾らねばならぬ。普通選挙の浄化は無産者からであることを知らねばならぬ石城の無産大衆よ。若い日本をつくる爲めにその一票を政治戦線に純潔な行使をして貰ひたい。無産者はブルジョア議衆が政治戦線に躍り出た無産大衆よ。起つて諸君自身の候補者を選ぶべきである。

### 他町村へ轉居者が

## 非常に増加

### 戸数割調査で發見

### 平町頭をナヤます

平町役場では来る七月四年度前期として賦課する特別税戸割の爲めに去る九月から殆ど吏員繰出の形で五石城郡下の梨の名産地平窪千に近い各戸を訪問財産調査やその他において調査中錦各村の發育状態は極めてであるが大體において一戸良好、虫害の程度も少く今當り平均は前期と大差なきを盛りと咲きこの儘順況のもの、如くであるもたゞ他す、まば五十萬貫の生産は町村への轉居者が割合増加してゐるのでこの方が振當てをどうするかは頗る頭を悩ますものと見られてゐる。

### 郡下の梨

### 結實は順調

石城郡田人組合村における郵便物は荷落夫局の配下に於て集配せられてゐるが、田人局は組合村を去ることをはか、に遠く勿來局より迂廻する不便の地にあり郵便物の運着甚だしく殊に小包書留貯金爲替等に至つては、一里餘の山坂を越

が梅森警中教諭の食養法の宮中生れ塚原久吉(二)は十一日長、百之助うといはれてゐる右に關し四月三十日主人の依頼だか氏から縣の手を経て久原渡で所長は語る。本年最近の氣候は平年より十日程遅れてゐる状態であつた時と殆んど違はな

非常不作  
昨キリンビール會社とビール栽培を契約した草野高久、大浦、飯野、警崎の各村に於ける栽培成績は風の害爲不作となつてゐるの契約高に達するかの否か危ぶまれてゐる。

若者の無錢飲食  
石城郡箕輪村居住炭礦夫馬上賢一(二五)は友人一名と無一文で平町彌宜町料理店安齋利助方に至り十四圓月二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蚕家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同二十三日その他に對して相當に大き

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

立候補者  
本日迄に於ける立候補届の提出者は左の如し  
宇佐美友二郎(中)  
野崎 滿藏(民)  
馬目 雅治(民)  
柳下 元吉(民)  
吉田 寅三郎(政)  
石山 治三郎(政)  
根本 品藏(政)  
吉田 五平(民)  
吉村 安次郎(民)  
千葉 彦治(中)

### 郡南方部の苗代に奇病發生

## 農村では死活問題

石城郡南方部の苗代にこのへて用を辨する有様なれば程突然不思議な奇病が發生同村に郵便取扱所を設置し郡農會より技師急遽出張すべく過般村會の決議を経あらためる等

二十三、四日頃に大霜があるらしい  
養蠶家は注意すべし  
小名濱測候所談

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

若者の無錢飲食  
石城郡箕輪村居住炭礦夫馬上賢一(二五)は友人一名と無一文で平町彌宜町料理店安齋利助方に至り十四圓月二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蚕家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同二十三日その他に對して相當に大き

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

### 田人村に郵便局を

## 村長遞相に陳情

石城郡田人組合村における郵便物は荷落夫局の配下に於て集配せられてゐるが、田人局は組合村を去ることをはか、に遠く勿來局より迂廻する不便の地にあり郵便物の運着甚だしく殊に小包書留貯金爲替等に至つては、一里餘の山坂を越

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

若者の無錢飲食  
石城郡箕輪村居住炭礦夫馬上賢一(二五)は友人一名と無一文で平町彌宜町料理店安齋利助方に至り十四圓月二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蚕家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同二十三日その他に對して相當に大き

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

花澤五五六君  
北目胡摩澤から推されて中原の鹿を逐ふ同君は十五區長として、つとに知られてゐる人である。

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

若者の無錢飲食  
石城郡箕輪村居住炭礦夫馬上賢一(二五)は友人一名と無一文で平町彌宜町料理店安齋利助方に至り十四圓月二十日ころから晩霜の警かう霜と同一氣象で養蚕家餘りを遊興した上二階より戒が必要であり同二十三日その他に對して相當に大き

名乗りを挙げた  
平町議の各候補(三)  
色々の變り種

### 極めて有望な 石炭の液化事業

#### 常磐各炭礦では 目下研究中

常磐各地炭礦では不況と貯炭の關係から現況を如何に打開すべきか重大問題となり各炭礦共石炭の工業化につき研究を開始したが入山炭礦を始め木曜會に加盟してゐる大日本炭礦等は石炭の液化に依る石油代用の燃料に對し特に着用し着々研究の歩を進めてゐる

#### 磐城炭礦でも最近非

常に重要視し同礦産出の有煙無煙納炭を埼玉縣川口町にある商工省燃料研究所に送つて液化試験を依頼するといふ有様であるが常磐から産出される石炭は液化實現が有望視されこれに磐城炭礦高坂坑の石炭は液化に適した炭質であるらしいこの常磐炭の液化が完全に行はれ其の結果有利であると判明すれば各炭礦共同で一會社を設立し大量生産を起すか何れとも

#### 具體化を見る模様で

あるが右に就いて入山炭礦では語る  
石炭の工業化或は液化に就いては本社に於て可成早くから研究をして居る然し液化の結果として採算が取れるか否かと云ふことは即答は出来ない採算有利とすれば非常に良い事と思ふ各地が共同出

#### 日曜歌壇

一丁目しづ子  
咲き残る牡丹櫻に降る雨も春の名残りやいと悲しく  
田町 小柳生

春雨に合々傘の肩寒し  
祖母の墓参す百ヶ日哉  
墓参道何處の君の手折りしか 墓場の椿雨にぬれ  
つ、  
春雨にぬれて墓参す百ヶ日 彼岸の柳淋しげに  
はつ子

夕間暮れ 田の面になくや友呼ぶ蛙  
田町 渡邊清

ゆるやかな流れを下る笹舟  
小舟 いづこの君の流し給ひし  
花一輪乗せて漂ふ笹舟  
吹く風毎にさまよへる如し  
田町 伊藤雲雪

口語歌  
大田 匠  
「オッオンはどーれ」と

私にすりよつて  
教へる指先  
ちつと見る戀人  
吐出した  
煙草の  
けむりの  
線やさし  
果敢なく逝つた  
戀人に似てゐる  
闇は  
いくらみつめてゐても  
開暗だ！  
見張つてゐる瞳に  
何一つ映らぬ

煙突の  
煙りが真直ぐ  
登つてる  
空は晴れてる  
冬のよい日だ！

西洋丸昇軒  
電話四三九番

体温器  
寒暖計  
電話四〇番

俳句  
田町 伊藤雲雪  
散つた一輪  
我がしをり〇不夜城や  
つき咲きた、松ヶ岡  
佐々木香雲

五月雨や 吾が身をぬらす 破れ傘  
音機 人立ち止る 雨の中  
炊骨庵生  
小雨降る 五尺の庭にばたん哉  
傘すれぐに つばめ哉

黄昏る 庫裡の近くや藤の花  
訪ふ人もなき 山境やつし哉  
淋しい夜  
田町 伊藤雲雪  
どんより曇つた町  
むしあつ初夏の夕べ  
街燈の光はもやにうすれ  
淋しく町を照してゐた  
去りし君が歸る様な夜です  
ごこからかハーマニカの音が流れて来た  
新川町 牧山  
雨の降る朝です  
飼つてあるセキセイインコにをやる時  
昨日さしにさした水菜  
あの水々しさを失つて  
疲れきつた労働者のやうに……  
捨てるのも勿体ない氣がして  
幸ひ軒端から落ちる雨だ  
幾分でもよい生氣をつけ  
た  
小鳥に與へやうとしました  
雨だれを水菜に受けまゝ  
意外でした  
雨だれは私の手にまで  
強い振動を與へたのです  
から  
選舉印刷物大勉強  
本社電七五七へ

既に高評ある御藥酒  
滋養 〇〇〇〇〇〇  
強壯 〇〇〇〇〇〇  
政戦の準備とは何にか!! 曰く硬質なる筋肉と強健なる神經なり  
此れ等は朝に夕にの粟守酒一杯を用ゆる事に依つて御満足を得られん 四合瓶 一、九〇  
平町一丁目  
**大平屋藥舖**  
電話六四二番

坊チャン嬢チャン方ノ衛生的ナ  
才食串トシテ滋養ノ多イ  
飛切リウマイ松本屋ノパン  
●パンズ  
●ブラム  
●ミツワ  
●ウヅマキ  
●甘食パン  
●ピーツ  
●ナケーキ  
食パン一斤……金十六錢  
個 五錢  
目丁四平  
**ヤトモツマ**  
番四一話電

漆器の御用命は……  
是非  
**和久井屋**  
平町一丁目通り 電話四〇五番

内外木材製材販賣  
**上長小次郎**  
平町新川町  
電話六〇一番

イスとテーブルの御用命は  
本箱とツクエ  
**丸ほん**  
三丁目・電二五九  
月見町工場・電七二三番

良品廉賣に勝る商略なし  
**磐城平五丁目**  
磐城セメント株式會社特約代理店  
和洋銅鐵 金物問屋  
**釜屋商店**  
諸橋久太郎  
電話九番一三九番  
振替貯金口座一〇九五六番  
確實敏捷は 〇の生命なり  
只今……は  
**ネルとセル**の  
陳列會を催して居ります  
**三井吳服店**  
電話三八番 七五一番

おなじみの  
**昭和タクシー**  
おわずれないで下さい  
電話はお好きな三四三番  
平驛前